

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム なごみ
日付	平成17年10月24日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験暦6年 大学教員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)	

外部評価の結果

<p>概評</p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など)</p> <p>(記述式)</p> <p>建物は全体としてゆったりとした間取りであり、入居者が自由に行動できる空間になっています。歌のボランティアや見学の小学生を受け入れやすく、見守りにも好都合です。言葉遣いは家族のように暖かく、失礼にならないように気を配っているところが目に映りました。</p> <p>嚙下体操や生活リハ(洗濯物たたみ、配膳、片付けなど)をして、機能維持に努めています。しかし、参加は入居者の意思とやる気を尊重し、決して押し付けにならないようにしています。生活リハで家事をしてもらった後は、必ず職員が「ありがとう」とお礼を言うことで人生の先輩としての入居者への尊敬を大切にしています。</p> <p>職員と事業主はグループホームの改善に熱心で、足りない箇所が見つければ積極的に改善に努めています。</p> <p>診療所がすぐ近くにあり、医師も往診の途中に気楽に立ち寄っています。入居者の状態を定期的に連絡するなど、医療機関と緊密な連携が取れています。</p> <p>前年との比較</p> <p>昨年は閉じこもりがちになっていましたが、移動用に自動車を購入され、買い物やドライブなどで有効に使われています。また、地域との交流もまだまだでしたが、地域の運動会に参加したり、小学校の見学を受け入れたりと、2005年10月からは学校の実習も受け入れられるそうです。大正琴や歌のボランティアも来てくれるようになりました。薬を渡すときも机の上に置いたままで見守りが出来ていませんでしたが、入居者の手に渡し、服用し終わるまでの確認が出来ていました。</p> <p>改善の余地があると思われる点</p> <p>(記述式)</p> <p>調理中の職員が、入居者に背を向けたり、レクリエーション作業に没頭し、見守りが不十分なところが見られました。</p> <p>入居者の希望をうまく引き出せないときや適切な言葉遣い、介護のあり方などで迷ったときは、自分が入居者だったらどうして欲しいかという観点から考えるとヒントが得られると思います。</p>
--

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) なごやかで笑顔のある生活を心がけています。いつまでも元気であるために、配膳や洗濯物たたみなどの生活リハビリや嚙下体操を行っています。強制的ではなく入居者本人の「やる気」を大切にしています。 ホームとして足りないことがあれば、事業主と職員が一緒になって積極的に改善しようとしています。人生の先輩としてのお年寄りに対する敬意を忘れず、生活リハで配膳などをしてもらったときには必ずお礼を述べるようにしています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 玄関にはカギがかけられておらず、出入りは自由です。リビング、居室、廊下のスペースが広く、ゆったりとした空間が取られています。入居者の生活リハの成果でもある小物が壁に飾られ、家庭的な雰囲気作りを目指しています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	ブライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 入居者との信頼関係を重視し、声かけがしっかり行われています。また、漬物の漬け方など、入居者の知識・経験を尊重し、職員が謙虚に学ぶ姿勢を示すことで入居者の誇りを大切にしています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	昨年は、「地域との連携と交流促進」、「ホーム機能の地域への還元」ができていませんでしたが、今年は車も確保し、外に出て行ったり、実習生の受け入れを始めました。このように課題を明らかにして、事業主とともに積極的に改善に努めています。		